

止まり木



行ってきます。行ってらっしゃい

みなさん、おはようございます。こういう場であいさつをすると今のように自然に挨拶が返ってきます。すごく気持ちがいいです。朝の登校時に校門でもほとんどの人が「おはようございます」とあいさつをしてくれます。成績がいい、スポーツができる。それも確かに評価に値することですが、これだけでその人を信頼できるか、信用できるかというところではないように思います。でも**気持ちのいい挨拶**をしてくれる人に対しては、「いい人だなあ、気持ちのいい人だなあ」と思うのは校長先生だけでしょうか。実は私たちの周りには「いい言葉」がたくさんあります。ではここで問題です。

この絵のような場面で子どもから出てくる言葉は何でしょう？



そう、「行ってきます」ですね。

実は、この「行ってきます」という言葉は、2つの言葉が合体してできたものなんです。では、さらに問題です。

「行ってきます」は、何と何の言葉が合体したものでしょうか？

①行きます+起きます ②行きます+できます ③行きます+帰ってきます

①「行きます+起きます」は、朝、起きて、行きますという意味になります。

②「行きます+できます」は、行くことができますという意味になります。

③「行きます+帰ってきます」は、行って、帰ってくるという意味になります。

……………正解は、③の「行きます+帰ってきます」です。

ちなみに、「行ってらっしゃい」は、「行く」+「らっしゃい」です。「らっしゃい」とは、「らっしゃい、らっしゃい、大根が安いよ」とか、お店の人がお客さんに言う「らっしゃい」…「いらっしゃい」、もう少しでいねいに言うと「いらっしゃいませ」ということになります。

「来てくれてありがとう」という歓迎を表す言葉です。つまり、「行ってきます」は「行って、帰ってきます」。「行ってらっしゃい」は「行って、帰ってきてくれてありがとう」…帰ってきてくださいねという意味になります。日本では、昔から**「いい言葉」を口にすれば、「いいこと」が起きる。「悪い言葉」を口にすれば、「悪いこと」が起きる**と言われていました。口にすることが、実際に起きると信じられていたのです。

昔は旅をするのも、命がけでした。だから、旅立つ人は、「行ってきます」と言うことで「必ず帰ってきます」という誓いをたて、見送る人は「行ってらっしゃい」という言葉に「行って、無事に帰ってきてください」という思いを込めて言っていたのです。**大切な人とまた会うことができるようにという願い**から「行ってきます」「行ってらっしゃい」という言葉ができました。普段、何となく使っている言葉に、こんな深い意味があるのです。

特に、この思いが強かったのが、戦争中です。戦争に行く人は「行ってきます」と言うことで「必ず生きて帰ってきます」という誓いを、日本で見送る人は「行ってらっしゃい」と言うことで、「無事に生きて帰ってきてください」という思いを込めていました。

今、日本はある意味平和です。戦争中は、「行ってきます」が言えない人たちもいたのです。当たり前「行ってきます」「ただいま」と言える日常に感謝して、**一つ一つの言葉を大切に**使ってほしいと思っています。